



接続料の算定に関する研究会 (第22回)

2019年05月31日

一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会

NTT東西殿との協議状況・研究会での議論

1. NTT東西殿との協議状況

- NTE増設等接続協議で、JAIPAを含めた団体協議を依頼してきたが、様々な課題が存在して、必ずしも協議が円滑に進まず、国民・業界全体のための結果に結びつかなかった。

2. 研究会での議論

1. 当協会の主張

- 透明性・公平性担保のために事業者横断的な議論が必要 (現在は各社NTT殿とのNDAにより同一の接続情報であっても共有・議論不可)。
- 接続制度は事業者に対する公平性が担保されている為、各接続事業者の情報量は同等となることが理想的。
- 団体協議は接続事業者・NTT東西殿間の交渉力の差を埋める一つ手段にもなり交渉も円滑化し効果的。

2. 構成員からのコメント(第19回研究会)

- 「団体協議が(接続の円滑化に)一つの解決策になるのではないか」旨の発言あり。



協議の場の設定について整理が必要

団体協議の枠組み

1. 目的

- 複数の接続事業者による議論によって、NTT東西殿・事業者間の情報非対称性や交渉力の差を埋めつつ、効率的・効果的かつ建設的議論を進めることで、永続的なブロードバンド市場の公正競争環境の維持や環境整備を図る。

2. 参加者

- 複数のJAIPA会員、JAIPA、及びNTTの実務担当者が協議に出席
- JAIPAは協会会員の支援と取り纏めを行う

3. 情報の取扱い

- 協議状況の協会内部報告や協議実施の有無、ISP側が作成した文書までNTT東殿にNDA対象文書として開示を拒まれるなど、NDAの問題は接続協議の円滑化の阻害要因となってきたことはこれまでの主張の通り。
- 情報の取り扱いについては協議当事者間で今後整理するが、特に接続制度として事業者へ公平性が担保される規定(次頁)等、個別に制限する必要がない情報はオープンとしていきたい。
- また、JAIPAの意思決定機関(理事会等)への報告 や一般社団法人としての義務である会員や外部（総務省や研究会、JAIPAのセミナー等）への情報の公開を妨げないこととしていただきたい。

4. その他

1. 枠組み構築に当たっては今後総務省殿に相談の上取り組んでいきたい。
2. 個社の接続協議のスキームは当然存続する。本枠組みが個別の接続協議を妨げるものではない。

「制度として事業者へ公平性が担保される規定」例

- あまねく接続事業者に適用されることを想定する事項
 - NTEの増設基準・高性能NTEの開発・PPPoE設備取扱(除却)等
 - ユーザに向けたIPアドレスの利用・アサイン方法。
 - その他接続に用いるための技術的な事項
 - エンドユーザ料金設定権等の新たなサービス議論
 - 約款化されることを想定する議論等

参考：今後の研究会での議論について

- 当協会はこれまで国民のブロードバンド環境の整備・改善や接続事業者の公正な事業環境の整備に向けて対応してきました。
- 接続に関する多くの課題等について本研究会等にて議論いただいたことで一定の成果がだせたものと認識しております。この点について、構成員・事務局・他オブザーバ等の関係者に深く感謝申し上げます。
- しかしながら、現時点においても継続的に議論が必要な課題が存在すること、電話のマイグレーションなどIPネットワークを取り巻く環境が変化することにより今後も課題が出現してくることが容易に予想されること等から、本研究会において引き続き議論を継続していただくことを要望します。
- 当協会は、引き続き、ブロードバンドの推進に向けた議論に、積極的に貢献してまいりたい所存です。

参考：JAIPA活動指針

- JAIPAは(中略)事業者が単独ではなしえない、インターネット業界共通の利益のための活動を積極的に展開します。
- JAIPAはインターネットサービスを利用者に直接提供し利用者を最もよく知る利用者が一番近い立場で、インターネットに関わる様々な課題について様々な場において取り組んで行きます。
- JAIPAはインターネットユーザーの公共の利益のために会員が共同して活動する場を提供することを第一に考えます。
- JAIPAはインターネットサービス業界全体の統計の収集や、分析、レポートを行います。さらに会員であるインターネットサービスの事業者に対する情報提供などを通じて、事業者支援を行い、インターネットサービスの産業の発展に寄与します。
- JAIPAは対外的に政府や他の業界に対し、事業者共通の窓口として適切な仲介機能を果たします。
- JAIPAは内外とも事業者に偏らない公平で中立の立場からインターネットの利用環境の向上に寄与する活動を行って行きます。
- JAIPAは活動にあたっては内外に対し透明性を確保した運営に努めます。
- JAIPAは会員同士の交流、情報交換、情報共有を促進し、親睦を図り、健全な競争環境の育成に努めます。

おわり

